



大成小だより

郡山市立大成小学校

2021年2月15日

第10号

発行責任者 柳沼 啓之

このたびの地震で被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます

2月13日（土）夜間に発生いたしました地震により、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。幸いにも子どもたちに大きな怪我等はなかったようで安心いたしました。また、マチコミメールでの安否確認等のアンケートにご協力にいただき感謝申し上げます。

私の家も荷物や食器の落下、家具の転倒により、部屋の中が大変な状況になってしまい、後片付けに大変苦労しております。

東日本大震災を経験し、当時は「高いところに荷物を置かない」「転倒防止策を行う」「食器棚の扉は開かないようにする」「避難用具は常備しておく」など気をつけておりましたが、だんだん気持ちが薄れて、油断していたところでの地震でした。今回の地震であらためて「慣れ」や「風化」は怖いと感じることができました。やはり日本は地震大国であることを再度認識し、気をつけていきたいと思いました。

テレビのニュースの番組から

先日、テレビのニュース番組を見ていましたところ、最近、万引きが増えているとのニュースがありました。店主さんの話から、万引きする人は、そんなに罪の意識はないようであるが、小売店では100円のガム1個の利益は数円程度であり、その数円の利益をあげるために大変な苦労をしており、ガム1個の万引きで、その苦労があっという間になくなってしまふとのことでした。さらに、「万引き」が引き金となり、だんだんと行為がエスカレートし、大きな事件につながってしまうこともあるようです。

また、子どもたちの中では、「友達の持ち物を取ってしまう」「ゲームソフトのやりとりをする」「おごったり、おごられたりする」「お金の貸し借りをする」などが、引き金になったり、そのような行為が積み重なったりして、大きなトラブルになってしまう可能性もあります。

学校では、道徳の授業などを通して「善悪の判断」「規則の尊重」などの指導を繰り返している所ではありますが、ご家庭でも子どもたちの生活をもう一度見直していただき、話し合いをしていただければ幸いです。よろしく願いいたします。